

NPO 法人 野生生物調査協会 第19回シンポジウム

■テーマ： 我々は外来生物とどう関わるか？

■日時： 2024年12月6日（金） 13時15分～16時30分

■場所： 調布市文化会館 [たづくり] 8階 映像シアター （裏面地図参照）
東京都調布市小島町2丁目33-1 tel: 0424-41-6111
With Zoom ミーティング

■主催： NPO法人 野生生物調査協会 教育研修委員会

■プログラム：

13:05 開場（受付）

13:15 シンポジウムの注意事項

13:20 開会／開会挨拶

13:25 協会活動紹介

13:40～16:10 講演（プログラム順序は変更する場合があります）

※オンライン

「今さらだけど、外来生物って何？」 伊藤元（株式会社地域環境計画）（10分）

「東北における特定外来生物の確認状況」 細見周平（株式会社エコリス）（25分）

「麻機遊水池におけるナガエツルノゲイトウの対策事例」
伊東日向（株式会社 環境アセスメントセンター）（25分）

～ 休憩 10分程度 ～

「外来アリ対策」 上田達也（株式会社地域環境計画 中四国支社）※（25分）

「樹木管理上問題になる外来種」 松本竹吾（樹木医）（25分）

「ミズワタクチビルケイソウほか、判ってきた付着藻類の外来種」
洲澤多美枝（有限会社河川生物研究所 九州支所）※（25分）

16:15 閉会／閉会挨拶／懇親会のご案内

16:30 閉場（完全撤去）

■ 申し込み方法 ■

必要事項を記入の上、12月3日（火）までに、各社教育研修委員、もしくは、下記宛先までお申し込み下さい。会場参加・Web参加、及び懇親会参加をお知らせ下さい。

・宛先 <mailto:hase@npo-wildlife.com>

NPO法人 野生生物調査協会 担当：長谷(はせ)

・記入事項：氏名、所属、連絡先（メールアドレス：Web参加の場合資料送信のため）
表題「第19回シンポジウム 参加」

■懇親会：

終了後、懇親会を開催する予定です。（17:00～19:00）

場所： Torattoria Timo （地図参照） 調布市布田3丁目17-8

参加費：会員外 一般 3,000円 学生 無料

会員は後日会社に請求します。

※※ シンポジウムのみ参加は無料です。

シンポジウムプログラムの概要

※ オンライン講演

「今さらだけど、外来生物って何？」

伊藤元（株式会社地域環境計画）

外来生物（外来種）とは何か。いつ、どこから、どのようにして辿り着いたものなのか。その境界線は・・・。（仮）

「東北における特定外来生物の確認状況」

細見周平（株式会社エコリス）

弊社で把握している東北地方で現在までに確認されている特定外来生物(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、魚類、底生、植物)の確認状況(県レベル)について紹介する。

「麻機遊水池におけるナガエツルノゲイトウの対策事例」

伊東日向（株式会社 環境アセスメントセンター）

近年日本国内で分布を拡大している特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて、特徴と国内の事例を解説するとともに、静岡県静岡市の麻機遊水池における駆除対策に関する取り組み、及び、今後の展開について紹介する。

「福山市における外来アリの防除と普及啓発について」

上田達也（株式会社地域環境計画 中四国支社）※

広島県福山市では、2019年にアルゼンチンアリが発見され、根絶を目指した防除とモニタリングを継続している。また、2022年に福山港でヒアリが発見され、市民のアルゼンチンアリやヒアリに対する関心が高くなっている。外来生物の侵入初期での発見や防除には市民の理解と協力が不可欠であることから、福山市では2023年にアルゼンチンアリとヒアリに関する企画展を実施し、市民への普及啓発を行った。今回は、福山市での、これら外来アリに関する取り組みについて紹介する。

「樹木管理上問題になる外来種」

松本竹吾（株式会社緑生研究所）

樹木医の立場から、樹木管理上問題となる外来種について紹介する。

「ミズワタクチビルケイソウほか、判ってきた付着藻類の外来種」

洲澤多美枝（有限会社河川生物研究所 九州支所）※

河川の一次生産者である付着藻類は各種環境調査の対象になりうるが、一部の大型藻を除くと貴重種もいなければ外来種も不明だと扱われて来た。微細な珪藻類としては日本で初めて外来種であることが判明したミズワタクチビルケイソウとその対策、疑いのある他種について紹介する。

会場地図



★駅前が工事中のため、少し様子が変わっています